

環境規格・認証の有効性と国際的普及の検討

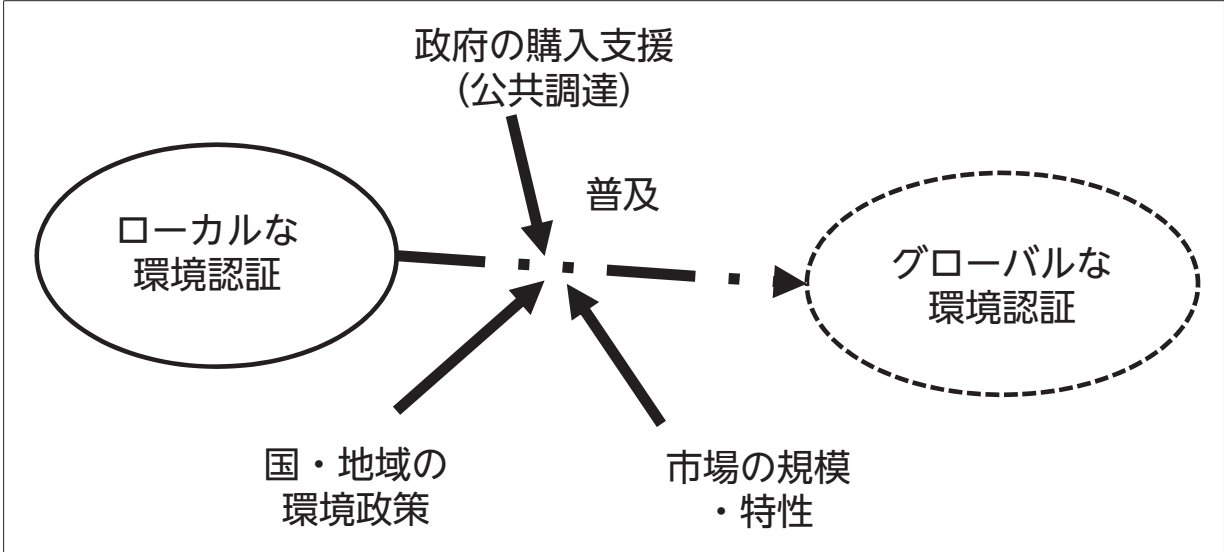
■ 社会環境学部 社会環境学科 教授 渡邊 智明

- 研究分野：環境法政策、グローバル・ガバナンス（国際関係論）
- キーワード：環境認証、標準化、公共調達

I 研究概要

現在、工業製品の規格に関わるISO（国際標準化機構）、電気に関わるIEC（国際電気標準化会議）、あるいはFSC（森林管理評議会）など民間組織のルールである規格やラベルが、地球環境問題に果たす役割について関心が集まっている。従来のような、強制力をもつ国家の法律などの規制に比べて、どのような点で有効なのか、森林や電気製品など各分野の比較を通じて、その可能性を研究している。

これらの環境規格や認証は、国あるいは地域を超えて普及している。国際的な普及は、どのような要因によって進展するのか。政府が購入支援することや（公共調達）、環境規制などの社会制度、その国の市場など、様々な要因に目を向けながら、日本や欧米、発展途上国について比較検討している。



図：環境認証の普及に与える諸要因

I 利点特徴

専ら技術的な分野と見做されてきた標準化や認証について、グローバルなルール形成の制度メカニズムについて知見を深めることができる。

I 応用分野

EUや日本の経済産業省の担当者とのネットワークを介した当該技術分野におけるルール策定動向についての分析

